

令和2年度第2回福島県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会開催概要

1 開催日時 令和3年2月9日(火) 13:30~15:00

2 開催場所 福島職業能力開発促進センター 教室棟イベントホール

3 主な議題

- ・令和3年度における評価指数・目標値について
- ・新型コロナウイルス感染症による主な業務への影響等について
- ・令和2年度事業実施状況及び令和3年度事業計画について
- ・施設部会について

4 協議内容

資料に沿って事務局から説明が行なわれた後、意見交換が行われた。

主な意見は以下のとおり。

(離職者訓練について)

・定員充足率が低調な原因のひとつに職業訓練が就職に有利であるということが十分に認知されていないことがあると思われるので、就職率が高いことをもっとPRするべきである。

・建設人材が不足しているため、職業訓練において建設人材の育成にさらに力を入れていただきたい。

・求職者は就職直後よりも5年後、10年後にその会社に入った自分がどうなっているのかに関心があると思われる。ポリテクセンター修了者の活躍事例を紹介することでそれがイメージしやすくなり、入所の不安も払しょくされるのではないかと。修了者との関係づくりや修了者の活躍事例の収集などに積極的に取り組んでいただきたい。

(業務全般について)

・新型コロナウイルス感染症のこともあり、これからはDX(デジタルトランスフォーメーション)がますます重要となっていく。すでに職業訓練として行われてはいるが、IT関係の技能を身につけた人材が重宝されるので、そのような訓練をさらに拡充されたい。

・新型コロナウイルス感染症の影響により、職業訓練を受講したくても受講できなかった方もおられるのではないかと。そのような多くの制約があった中においては各事業の実績値は立派な数字だと評価する。

・先日テレビで職業訓練が取り上げられたように、「職業訓練」というキーワードを口にする人が増えている。職業訓練に期待を持つ人が増えている今こそ、見せ方を工夫しながら上手く周知・広報活動を行っていただきたい。職業訓練は間違いなく国民のためになる制度であり、それを確実に必要な方へ届けてほしい。

令和2年度第2回福島県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会 委員名簿

区分	氏名	所属及び職名
学識経験者 (4名)	五十嵐 敦	国立大学法人福島大学教育推進機構 職業心理学教授
	鈴木 清昭	公益財団法人福島県産業振興センター 理事長
	小林 清美	一般財団法人福島県婦人団体連合会 会長
	安斎 康史	株式会社福島民報社 編集局長
労働者代表 (2名)	今野 泰	日本労働組合総連合会福島県連合会 会長
	紺野 信昭	自動車総連 福島地方協議会 副議長
中小企業等代表 (3名)	石本 健	福島県商工会連合会 専務理事
	堀切 豊	福島県中小企業団体中央会 事務局長
	石井 浩	福島県商工会議所連合会 常任幹事 福島商工会議所 専務理事
行政機関 (3名)	寺岡 潤	厚生労働省福島労働局 職業安定部長
	野地 義幸	福島県商工労働部 産業人材育成課長
	松田 和士	福島市商工観光部 次長